

でんとうこうげい 伝統工芸について調べる

日本には、たくさんの伝統工芸があります。伝統工芸とは、くらしのなかで使うものを土地に合った材料や方法をいかして、主に手作業で作ったものです。

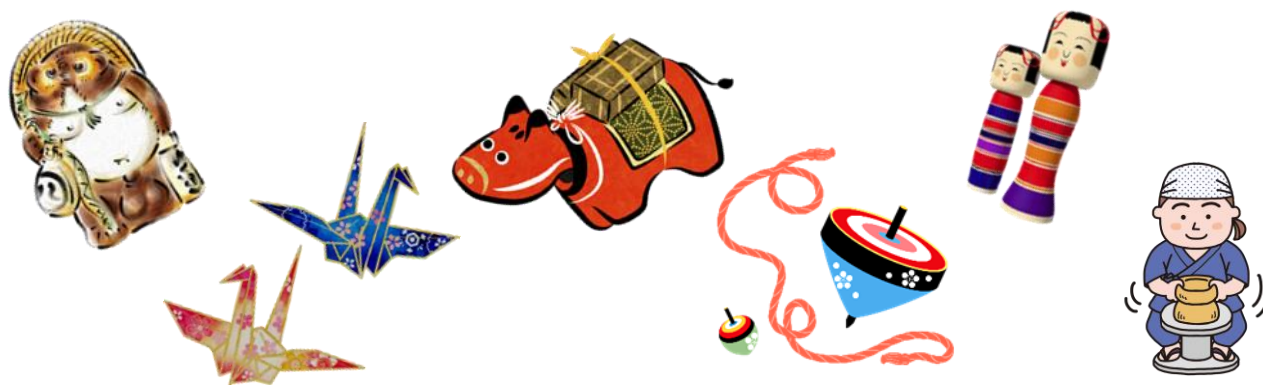
その種類は、織物や陶磁器、漆器、和紙、人形など14に分類されています。現在、国が指定した伝統的工芸品（伝産法という法律で指定された工芸品）は237品目あり、全国各地で作られている伝統工芸品の数は1200以上あるといわれています。

みなさんの地域にはどのような伝統工芸があるでしょうか。むかしの人々が工夫して作りあげてきた伝統工芸の歴史やとくちょうを知り、伝統工芸のみりよくを調べてみましょう。

神奈川県には「鎌倉彫」「箱根寄木細工」「小田原漆器」などがあります。

参照：J75『わくわく発見！日本の伝統工芸』 河出書房新社 2017

経済産業省 伝統的工芸品 <https://www.meti.go.jp>



- ・分類番号のあとに“館内”とある本は貸出しができません。図書館の中で読んでください。
- ・貸出しされている本は予約できます。

発行 相模原市立橋本図書館

TEL 042-770-6600 FAX 042-770-6601

でんとうこうげい
●伝統工芸ってなんだろう？

J75／館内

でんとうこうげい
『伝統工芸』 ポプラ社 2006



伝統工芸の歴史や作品について種類別、材料別に書かれています。都道府県ごとに、地域に伝わる伝統工芸の由来や作り方の工程などもわかります。また、今の日本の伝統工芸産業がかかえている問題点、未来のための取り組みなどもしょうかいされています。

かながわけんかまくらし
神奈川県鎌倉市の伝統工芸、鎌倉彫についてくわしく書かれています。

J75

でんとうこうげい
『伝統工芸ってなに?』 日本工芸会東日本支部／編 芸艸堂 2013



げんざい
現在、伝統工芸にたずさわる人々が集まる日本工芸会には、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7つの団体があります。

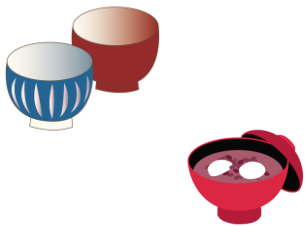
ほん
この本では、そこで活躍する人や工芸品の作り方をやさしく説明しています。カラー写真もたくさん使われているので見るだけでも楽しい本です。



みなさんの家にも伝統工芸品があるかさがしてみてね。

J75

でんとうこうげい
『伝統工芸のよさを伝えよう1』 オフィス303／編 汐文社 2020



とどうふけん
47都道府県の伝統工芸を1巻は「よそおい」、2巻は「生活」、3巻は「学びと遊び」のテーマにわけて、写真を使ってくわしくしょうかいしています。調べたことをまとめ、作文にする方法も書かれているので、書く力、伝える力も身につけられるようになっています。

J75

はっけん にほん でんとうこうげい
『わくわく発見！日本の伝統工芸』 河出書房新社 2017



とどうふけん
都道府県ごとに、どのような伝統工芸品があるか、イラストを使ってひと目でわかるようにしょうかいされています。かながわけん
神奈川県
かまくらぼり
鎌倉彫
はこね
箱根
よせぎざいく
おだわらしっき
小田原漆器
せつめい
寄木細工、小田原漆器についての説明があります。

●どんな伝統工芸があるか調べてみよう！

しっ き もっこうひん
漆器・木工品

「漆器」ってなにかな？

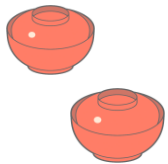
木のうつわに「うるし」の
樹液をぬった工芸品です。



「うるし」とは？

うるしの木をきずつけると
木からでてくる液体（樹液）の
ことです。

J75 『調べよう 日本の伝統工業 1』 国土社 1996



伝統工業とは、ある地域に伝わる材料や技術をいかしておこなわれている工業のことです。製品には工芸品が多いことから伝統工芸ともよばれます。このシリーズの1巻では漆器、木工品をはじめいろいろな伝統工芸品をしょうかいしています。樹液をとるところからできあがるまでのようすもわかります。2巻から7巻では、地域ごとの工芸品をとりあげています。

J75/館内 『調べてみよう！日本の伝統工芸のみりよく 4』 ポプラ社 2020



漆器や木工品・竹工品は、素材の軽さやじょうぶさ、加工のしやすさをいかしています。土地の木を利用して発展してきた木工品には、ヤマザクラの樹皮から作る樺細工や秋田杉をうすくはいで作る大館まげわっぱなどがあります。神奈川県かながわけんの鎌倉彫かまくらぼりもしょうかいされています。

J50 『日本の職人さん 2』 小川洋／文 市川成憲／写真 ポプラ社 1998



漆器は、英語で「ジャパン」ともよばれ、日本が世界にほこるすぐれた工芸品です。そんな日本を代表する漆器のひとつに「輪島塗り」があります。この本では、輪島塗りができあがるまでの工程について写真を見ながら調べることができます。

や もの
焼き物

焼き物には、土からつくる陶器と
石の粉からつくる磁器があります。



J75/館内 『調べてみよう！日本の伝統工芸のみりよく ～焼き物と金工品～ 3』 ポプラ社 2020



焼き物は陶磁器といい、土をこねて焼いたもののことです。伝統工芸の焼き物は、産地の土の持ち味がいかされ、あたたかみをかんじさせるものや、色あざやかなものがあります。また、日常生活で使われる食器や鑑賞して楽しむ芸術作品などがあります。

J75 『伝統工芸の世界』 理論社 2003



私たちの暮らしの中にある伝統工芸品ができるまでを写真やイラストを使ってわかりやすく書かれています。陶器の備前焼と磁器の有田焼がしょうかいされています。

お もの そ もの
織り物・染め物



なつ き 夏に着る「ゆかた」と七五三の「はき」は、
同じきものでも手ざわりがちがうね。
どんな織り物や染め物があるのかな？

J75／館内

しら 調べてみよう！ にほん でんとうこうばい 日本の伝統工芸のみりよく』 1～2 ポプラ社 2020



伝統工芸品の織り物や染め物の多くは、それぞれのちいき しぜん 地域で自然からとれるざいりょう つか 材料を使い、
てま じかん 手間と時間をかけて作り出されてきました。いまでもそのぬの きもの おび つか 布は着物や帯に使われています。
くに 伝統的工芸品には てき ひん にしじんおり 西陣織など ひんもく 38品目の織り物と、 か が ゆうぜん 加賀友禅など 13 品目の染め物が
えら 選ばれています。

J59

きもの 『着物のえほん』 高野紀子／著 あすなろ書房 2009



着物は日本の美しい伝統文化です。着物や帯には、布を織ってから色を染めたりもよ
うを描いたりする「染め物」と、糸を染めてから布を織る「織り物」があります。この
本には着物のれきし 歴史やきまりごと、着つけなど、着物にまつわるさまざまなお話がしょう
かいされています。

わ し
和紙

2014 年
むけいぶんかいさん とうろく ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

J58

せかいいさん 世界遺産になった わし 『和紙』 1～2 新日本出版社 2015



2014 年、ユネスコは「和紙」を無形文化遺産に登録しました。登録名は「和紙・
日本のてすきわ しぎじゆつ 手漉和紙技術」です。この本では、にほん せいふ 日本政府がどうして和紙を無形文化遺産に
登録しようとしたのか、そのりゆう 理由がわかります。

J58

かみ だいけんきゅう 『紙の大研究』 1～4 樋口清美／構成・文 岩崎書店 2004



紙のれきし 歴史からようし 洋紙（外国の紙）とわし 和紙のちがい、紙のしゅるい 種類や使い方からリサイクルまで、
紙のことがくわしくわかる本です。だい 4 巻は紙のじつぶつ 実物図鑑になっていて、いろいろな紙の
ちがいをさわってたしかめることができます。

J58

わ し す 『和紙を漉こう』 リブリオ出版 2003



この本はわし 和紙のつく 作り方のほん 本です。紙をすく道具の作り方や紙の
ざいりょう 材料の種類、 しゅるい 牛乳パックを使った紙すきがしょうかいされて
います。むかし 昔の人々と同じやり方とわし 和紙を作ってみましょう。

さつ わ し ざいりょう お札も和紙の材料が
つか 使われています。



● 神奈川県について調べよう！

伝統工芸について学んでいくと、どうしてその場所で作られるようになったのか、その土地の自然や歴史を知ることにつながります。わたしたちがくらしている神奈川県の伝統工芸を調べ、地域についても調べてみましょう。



おばあちゃんのうちに
あったお盆は、鎌倉彫
なんだって！

伝統工芸品は身近な
ところにいろいろ
ありそうだね。

おみやげでもらった
ひみつ箱に「寄木細工」
って書いてあったよ！

みなさんはいくつ知っているかな？

鎌倉彫（鎌倉市）、小田原漆器（小田原市）、小田原提灯（小田原市）、小田原竹長さ計（小田原市）、箱根寄木細工（箱根町、小田原市）、箱根細工（箱根町）大山こま（伊勢原市）、横浜芝山漆器（横浜市）、横浜クラシック家具（横浜市）

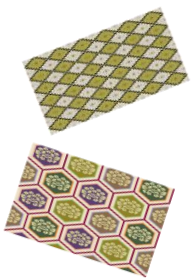
J75 『調べよう 日本の伝統工業 3 ～関東の伝統工業～』 国土社 1996



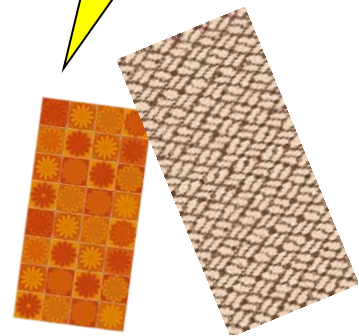
この本のシリーズは日本全国の都道府県の伝統工業を県別に
しょうかいしています。神奈川県の項目には、箱根寄木細工、
鎌倉彫、小田原漆器があります。

寄木細工には
いろいろなもよう
があるよ！

J75 『伝統工芸のよさをつたえよう 3』 オフィス303／編 汐文社 2020



寄木細工とは、種類のちがう木を組み合わせてもようを作る
細工のことで、この本では、そのみりよくについて書かれてい
ます。



J60 『地場産業と名産品 2』 農山漁村文化協会 2007



わたしたちの祖先が知恵と工夫をかさねてつくってきた伝統工芸は、その土地ならで
はの自然をいかした名産品です。同じ産業でも地域によってちがいがあるか調べてみま
しょう。

箱根町畑宿は木工「寄木細工」の里としてしょうかいされています。

J60 『ふるさとの伝統産業 4 暮らしの文化をつくる伝統産業』 太平出版社 1994

神奈川県の伝統産業として、鎌倉彫・箱根寄木細工・箱根組子人形・小田原かまぼこがしょうかいされてい
ます。

● その他伝統工芸に関する本

分類	タイトル	出版社	出版年
J36/キ	これからの仕事 10 ～伝統工芸を受けつぐ～	学習研究社	1986
J36/キ	仕事の図鑑 11 ～日本の伝統文化を守りたい!～	あかね書房	1998
J38	調べて学ぶ日本の伝統 1～2	大日本図書	1996
J38	伝統文化で体験学習 3 きものに親しもう	ポプラ社	2003
J38	日本の生活道具百科 1～3	河出書房新社	1998
J50	日本の職人さん 1～6	ポプラ社	1998
J51	もったいないと日本の伝統 もったいない生活大事典 7	学習研究社	2007
J60	都道府県別 21世紀日本の産業 7	学習研究社	2001
J60	図解みんなの産業シリーズ 10 ～伝統工芸品～	学習研究社	1986
J60	図解いきいき日本の産業 5 ～伝統工芸品～	学習研究社	1996
J60	世界にほこる日本の伝統工芸	ポプラ社	1994
J75	はじめてのやきもの 5 ～日本と世界のやきもの～	小峰書店	1997
J75	子どものためのニッポン手仕事図鑑	オークラ出版	2017
J75	うるしの文化	小峰書店	2003
J75	シリーズ日本の伝統工芸 1～10	リブリオ出版	1993
J75	ひなにんぎょうができるまで	ひさかたチャイルド	2019
KO-60/J	かながわの名産百選	かながわのめいさん 100 選協議会	2005
K8-75/J/館内	神奈川の伝統工芸シリーズ2 寄木細工	神奈川県工芸指導所	—

● インターネットで調べてみよう ～調べものに役立つホームページ～

伝統工芸青山スクエア	https://kougeihin.jp
KOGEI JAPAN	https://kogeijapan.com
神奈川の伝統工芸技術	https://www.pref.kanagawa.jp/documents/38930/ri-huretto.pdf
神奈川県立あいかわ公園 工芸工房村	http://www.aikawa-park.jp/publics/index/21/
鎌倉彫工芸館	https://kamakurabori-kougeikan.jp
箱根町企画観光部企画課	https://hakone.or.jp/yosegizaiku
日本の伝統工芸品総合サイト	https://japan-kogei.com



伝統マーク

左のマークは、伝統的工芸品のシンボルマークとしてつくられました。経済産業省大臣が指定した技術・技法・原材料どおりにつくられた製品や、その技術をいかした製品のうち、産地の検査に合格したものに、この伝統マークが入ったシールがはられています。

参照：『調べてみよう! 日本の伝統工芸のみりよく』 ポプラ社 2020